

10/8(土)

17:00～18:30



学 長
井上 博

「トランプ旋風」とは何か —アメリカ大統領選挙とその背景—

今回のアメリカ大統領選挙では「トランプ旋風」が吹き荒れている。泡沫候補と思われていたトランプ氏が共和党大統領候補に選ばれた。他方、民主党大統領候補となったクリントン氏は大本命と思われていたにもかかわらず、決して安泰とはいえない。今回の大統領選挙でこのような状況が現れた背景には何かがあるのか、現代アメリカ経済と国民意識の変化からその要因を考える。

出身校：京都大学大学院経済学研究科 博士課程
研究テーマ：アメリカ経済論・多国籍企業論
主要業績：『多国籍企業と国際生産』監訳、同文館、2012年
『アメリカ経済の新展開』共編、同文館、2008年

2/4(土)

14:00～15:30



名誉教授・元学長
大槻 眞一

馬車は何台つないでも列車にはならない —我が国の戦略「第4次産業革命」を検証する—

「馬車は何台つないでも列車にはならない」と喝破したのは、イノベーションを100年前に提起したシュンペーターである。蒸気機関の発明というイノベーションがあつてこそ、列車が走り、産業革命（動力革命）が始まった。最近の我が国政府の戦略は、エネルギー革命、情報革命に続く「第4次産業革命」一色で、IoT、ビッグデータ、人工頭脳（AI）を使ってイノベーションを起こすという。一方で世界経済は、英国のEU離脱、米国の金利動向などを背景に下方リスクが高まっている。我が国も少子高齢化や地域経済縮小化の克服が喫緊の課題である現在、「第4次産業革命」を検証し、講ずべき必要な取り組みを考えてみたい。

出身校：神戸大学理学部化学科
研究テーマ：研究開発管理論
主要実績：『シリコンバレー現象の波紋』（Ⅰ）オーストラリア 2000年7月、（Ⅱ）台湾 2001年1月、（Ⅲ）インド 2001年3月 阪南論集社
会科学編 阪南大学会
『大学の社会的役割と大学教育の課題』『関西中四国教授会連合』No.127 2007年12月

3/25(土)

14:00～15:30



名誉教授・前学長
辰巳 浅嗣

EUよ、おまえはどこへ行く

近年、ヨーロッパではテロ事件が頻発している。EU諸国には大勢の難民が押し寄せ、イギリスが国民投票によりEU離脱を宣言する一因ともなった。各国では反EU/EU懐疑派と呼ばれる勢力の伸長が著しい。無節操なポピュリズムと狹隘なナショナリズムが渦巻き、人々の不満と怒りの矛先は、EU、特にその行政府であるヨーロッパ委員会に向けられている。では、なぜEUが批判の標的となるのか、EUの掲げた統合の理念は間違っていたのか、今日の危機的な状況にEUはどのように立ち向かうべきなのであろうか。

出身校：関西大学大学院法学研究科博士課程 博士（法学・関西大学）
研究テーマ：EUの外交・安全保障政策
主要実績：『EUの外交・安全保障政策-欧州政治統合の歩み』成文堂、2001年3月
『特別リポート 岐路に立つヨーロッパ連合』ブリタニカ国際年鑑2016年版、ブリタニカ・ジャパン、2016年4月